2026/10/14
Ver.2

キュービクル式高圧受電設備
取扱説明書並びに施工説明書
安全上のご注意

施工、ご使用前に、この説明書「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工し、お使い下さい。

- 施工会社様へ…納入仕様書、この説明書をお使いになった後は、所定の欄に貴社名をご記入の上、一緒に施主様へお渡し下さい。
- 施主様へ…… 納入仕様書、説明書などは、納入機器の取扱説明書と共に一緒に保管保存して下さい。万一、不具合が発生した場合は、施工会社又は専門知識をお持ちの方にご相談の上、対処して下さい。

【絵表示について】

- この説明書及び製品本体には、製品を正しく施工、ご使用いただき、施工される方や使用される方への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
  その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

警告表示のランク付けと定義

ランク	定　義
⚠ 危険	回避しないと、死亡又は重傷を招く差し迫った危険な状況を示す。
⚠ 警告	回避しないと、死亡又は重傷を招く恐れがある危険な状況を示す。
⚠ 注意	回避しないと、軽傷又は中程度の傷害を招く恐れがある危険な状態及び物的損害のみの発生を招く恐れがある場合を示す。

なお、⚠ 注意 記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結ぶつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載してますので、必ずお守り下さい。

- 製品本体には、ご使用の時に特にご注意頂きたいことを「警告ラベル」で表示してあります。ご使用時には必ずお読み下さい。なお、この警告ラベルは安全上必要なものです。はがしたり、汚損したりしないで下さい。

【絵表示の例】

⚠ 記号は警告を示す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。

⚠ 警 告

有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されています。

感電の恐れがあります。

- 扉を開いて内部点検・操作は、電気工事会社又は専門知識のある方以外には、行わないで下さい。
- 扉を開いての点検などは、必ず開けた扉を固定してから行って下さい。突風などにより、扉に押されることがあり危険です。
- 通電中は、保護板ははずさないで下さい。
- 通電中は、キュービクルの内部に入らないで下さい。
- ドアは必ず施錠し、鍵は関係者以外が持ち出せないように管理して下さい。

人身事故、感電の原因になります。

- 保守・改修作業は電源や信号をOFF状態にして作業を行って下さい。遠方操作信号や連動回路により突然動作することがあります。
- 換気扇などの回転体には、手を触れないで下さい。

発熱により火災となる恐れがあります。

- 導電部の接続ねじは付表1の適正締付トルク又は機器推奨締付トルクで締め付けて下さい。なお、定期的に増締めを行って下さい。

⚠ 注 意

性能・機能を損なう場合があります。下記の条件を守ってご使用下さい。

- 保護継電器などの保護装置は、施工完了後正しく整定して下さい。
- 無断で改造などをしたことにより発生した事故については、責任は負いかねます。改造の必要がある場合には、必ず納入メーカーにご相談下さい。
- 換気孔の付近に物を置かないで下さい。故障、発熱の原因になります。なお、規定された十分な保守、点検スペースを確保下さい。
- 断路器(DS)を操作する場合は、必ず遮断器(VCB)を開放してから行って下さい。
- 試験モードでONしたまま現場を離れないで下さい。インターロックなどが強制解除されており危険です。試験終了後は、速やかに所定のモードに正しく設定して下さい。
- 不具合が発生した場合は、速やかに電気主任技術者又は専門会社に連絡して下さい。
- 事故遮断した遮断器(VCB)の再投入は、事故区間を切り離すか完全に復旧したことを確認後、安全を確認して行って下さい。
- ヒューズが溶断した場合は、その原因を除いた後、必ず同容量、同形式のものと交換して下さい。また、同一回路で複数使用のヒューズは1本の溶断でも全数取替えて下さい。
- 使用機器の中には有害物質を含む場合もあります。廃棄には十分注意して下さい。

定期点検を実施して下さい。

- 定期的に交換する必要のある機器、例えばバッテリーなどは適宜交換して下さい。
- 碍子などの絶縁材料及び機器の絶縁部分は定期的に清掃して下さい。
- 遮断器など、定期的な保守点検の必要な機器は、機器取扱説明書に従って行って下さい。

⚠ 警 告

有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されています。

感電の恐れがあります。

- 接地線は、接地端子に確実に接続して下さい。
- 通電中は、キュービクルの内部に入らないで下さい。

発火、感電、故障の原因になります。

- 正しい配線、接続工事を行って下さい。
- 工事は電源や信号をOFF状態にして作業を行って下さい。遠方操作信号や連動回路により突然動作することがあります。
- 配線は適合した電線に圧着端子を使用し、導電部の接続ねじは**付表1**の適正締付トルク又は機器奨励締付トルクで締め付けて下さい。

発火により火災となる恐れがあります。

- 関連法規を遵守して、正しい工事を行って下さい。
- 配線工事完了時、全ての導電部のねじを増締めして下さい。導電部のねじが緩んでいると発熱します。

初回増締め実施日: 年 月

⚠ 注 意

けがの恐れがあります。

- キュービクルの移送、据付け時などの吊上げ作業は、正しい方法及び手順を守って行って下さい。落下、転倒によるけがの恐れがあります。

性能・機能を損なう場合があります。

- 高温、多湿、塵埃、腐食性ガス、振動、衝撃などの環境は避けて設置して下さい。
- 輸送、吊上げ作業は落下などさせないよう、静かに行って下さい。
- 箱体、チャンネルベースは取付け面の水平を確認して設置して下さい。固定は図面に指定されている箇所すべてを正しい太さのボルトにて強固に行って下さい。
- 保護継電器等の保護装置は、施工完了後正しく整定して下さい。
- サーモスタット・タイマなどの機器の設定は、関連要素を確認の上、正しく設定して下さい。設定が間違っていると動作不良や故障の原因になります。
- 無断で改造などをしたことにより発生した事故については、責任は負いかねます。改造に必要がある場合には、必ず納入メーカーにご相談下さい。
- 施工時に取り外した端子カバー、保護カバー、相間バリヤなどは必ず元の位置に戻して下さい。
- 不具合が発生した場合は、速やかに電気主任技術者又は専門会社に連絡して下さい。

故障、発熱の原因になります。

- 換気孔はふさがないで下さい。また、安全のため十分な保守点検スペースを確保して下さい。

故障、感電の原因になります。

- 通線孔加工時、内部機器に切粉やゴミがかからないよう養生などの処理を行って下さい。

⚠ 注 意

設置環境は下記条件でご使用下さい。

屋内用、屋外用とも

- 標高は1000m以下とする。超える場合は、ご相談下さい。
- 結露は収納機器に影響がない程度とする。
- 高温、 多湿、 じんあい、 煙、 腐食性又は可燃性ガス、 蒸気及び塩分による汚染の発生しない場所とする。
- キュービクルに対して、外部に起因する振動がない場所とする。
- 収納機器の操作が容易にできる場所とする。
- 周囲温度　　屋内用:－5～40℃　　屋外用:－20～40℃
  かつ、 24時間の平均値は、 35℃以下とする。
- 屋外用は氷雪により、扉の開閉に影響の出ない場所とする。

付表 1　導電部接続ねじの適正締付トルク

ねじの呼び径(mm)	締付トルク値(N・m)
3	0．6±0．1
4	1．5±0．3
5	3±0．6
6	5±1
8	12±2
10	20±4
12	45±10
16	95±20
20	180±30

注1．数値は、弊社社内規格値
2．ボルト 2本以上のものは、各ボルトについてこの表の値を適用する。
3．変圧器.、配線用遮断器などメーカ推奨値のあるものは、それを採用する。

お 願 い

- 施工が終わりましたら、この説明書に施工電気工事会社名と連絡先をご記入後、取扱方法について施主様にご説明願います。
- この取扱説明書は納入機器取扱説明書と共に大切に保管して下さい。

施工電気工事会社名	施工年月日
	年　　月　　日
	電話:

製造者名及び連絡先
株式会社エネゲート　制御機器事業部
TEL 06-6387-1184(事業部代表)
06-6387-1181(事業所代表・休日深夜)